

こたえ アメンボ

はってん
発展 ①

アメンボ

池や田んぼの水の上を、すいすいとすべるようにうごく虫がいます。アメンボです。アメンボは、どうして水にすずまないのでしょうか。

アメンボの足の先には、とても細かい毛がたくさん生えています。その毛には、水をはじくあぶらがついています。だから、足が水の中にすずまないのです。

アメンボは、水の上に虫がおちてくると、すぐに気づきます。虫がもがいてできる小さななみが、足に強くつたわってくるからです。アメンボは、なみのくるほうへ近づいて、虫をつかまえます。

1 アメンボの足の先には、何が生えていますか。

細かい

毛

2 アメンボの足が水にすずまないのは、どうしてですか。

足の先の毛に、水をはじくあぶらがついているから。

3 アメンボは、虫がおちてきたことに、どうやって気づきますか。

ア
においてイ
足につたわる小さななみでウ
音で

4 アメンボは、どのようにして虫をつかまえますか。

なみのくるほうへ近づいて、つかまえる。

5 さいしよのだんらくの、さいごの文は、どんな文ですか。

ア
といかけている文イ
答えている文ウ
まとめている文

おうちの方へ

- ・ 説明文は「といかけ（～でしょう）」と「答え」の組み合わせでできていることが多いです。5はその練習です。